

3. 尊王論 [図表P.196④]

\* 竹内式部…垂加神道を学んだ式部は1758年(9代将軍家重のとき)、公家に尊王思想を説いて幕府に警戒され、京都を追放された(16 \_\_\_\_\_ 事件)。

\* 山県大弐…江戸で兵学を講じつつ、尊王論を説いて幕府を批判したため、1767年に死罪となった(17 \_\_\_\_\_ 事件)。著書『柳子新論』。

柳子といっ架空の人物が語ったこととして自説を述べた本

この名も儒教にもとづく大義名分論を説く。大義名分論とは単純にいうと「臣下は天子に宇をばさるるを果たす」ということで、この「幕府は天皇に服従すべき」と解釈すると幕府には危険な思想にもなり得る。竹内は幕府に不満を持つ公家に支持されること、山県は弟子たちに幕府批判の説を説いたこと、で処罰されることになりました。

政治・社会思想の発達

[図表P.197]

1. 町人道德

\* 18 \_\_\_\_\_ …俚約・正直などの町人道德を平易な言葉で解く庶民的学問・19 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ ) を始める。主著『都鄙問答』では、当時蔑視されていた商人の営利活動を肯定した。「商人の賈利は士の禄に同じ」

2. 合理主義思想・体制批判

☆20 \_\_\_\_\_ …陸奥八戸の町医者。万人直耕の自然世を理想とし、農民の生産物を搾り取る武士階級を厳しく批判した著書『21 \_\_\_\_\_』101巻が明治32(1899)年に発見された。ほかに自説の要旨をまとめた『統道真伝』5巻がある。[史料124]

☆22 \_\_\_\_\_ …豪商升屋の番頭で大坂町人出資の学塾・23 \_\_\_\_\_ に学んだ町人学者。その著書『夢の代』は、靈魂など超自然的な事物を完全否定する無鬼論など合理主義的思想に貫かれている。

\* 富永仲基…22と同じく23 \_\_\_\_\_ 出身の町人学者。著書『出定後語』で仏教の經典は釈迦の教えそのものではなく、のちの説に粉飾されていることを論証した。国学者・平田篤胤はこの著書に刺激され、『出定笑語』で仏教を排撃した。

← 図表P197図④のイラストで 徳宗が押し寄せた人々ぶつとたしかめましよう。解説も読みましよう。

← 史124と現代語訳を参照して読んでみましよう。藩や幕府に知られずとすげえ表現が。この短い史料からとも感じとれましよう。

最初に図表P197図④の上にある「懐徳堂の設立」とい文章を読んで大坂町人の向学心を感じとりましよう。この塾が生み出した特異な町人学者の代表が22と富永仲基です。